中井町教育委員会だより第２２４号（令和７年10月号）

わかくさ

10月

教育課　☎８１－３９０６
生涯学習課☎８１－３９０７

変わりつつある中井町

現在、中井町では、人口の減少や学校施設や町施設の老朽化などの問題を解決するためにいくつもの取組を進めています。今回は、その取組について紹介します。

農村環境改善センター

中井町生涯学習融合施設（仮称）が整備されます

バーチャル生涯学習融合施設を放映中！
改善センターのモニターテレビを見ると、実際の空間を歩いた気分になれます。

農村環境改善センターは、昭和58年（1983年）に建設され、町の生涯学習・地域交流の中核を担ってきましたが、老朽化が進んでいるだけでなく、多様化するニーズに対応することが難しくなっています。また、エレベーターや多目的トイレがないなどバリアフリー対策もされていない等、様々な課題を抱えています。

令和6年度から役場中心拠点整備とあわせた生涯学習施設建設の取組が開始され、年度末に基本構想・基本計画が策定されました。

生涯学習融合施設の模型を展示中！
改善センターに入ってすぐ右手に設置してあります。

開館までの予定スケジュール

	2025年度	2026年度	2027年度
町民ワークショップ	→		
基本・実施設計	→		12月開館予定
用地買収	→		
建設工事		→	→

「里都まち♡なかいわいがやサロン」は10/19に第9回目を迎えます。
「わかくさ」では、今号から生涯学習融合施設について「Q&Aコーナー」を設けるなど、生涯学習施設の様々な情報について整理し、発信していきます。

Q&Aコーナー

Q　生涯学習融合施設の役割（基本コンセプト）は何ですか

A　この施設は、中井町の現状と町民の声を踏まえ、生涯学習と地域交流の拠点として機能することをめざします。多世代・多文化の人々が日常的に訪れたくなる「集い・憩い」の環境を整備し、豊かな人間性と地域への愛着を育みます。そうした関係性が蓄積されることで、生涯学習施設は中井町のシンボルとなります。さらに、ハードとソフトの両面を適度にデザインし、「学びからはじまる『里都まち♥ なかい』交流のシンボル」を基本理念に掲げます。

【完成予想図】

中井町教育懇談会を開催しました

わかくさ221号で、児童・生徒のワークショップについて紹介しましたが、8月25日には、大人版のワークショップ「中井町教育懇談会」が開催されました。6つの班に分かれて話し合いが行われました。議論した内容は、「なかい教育ビジョン」等の参考資料となります。

目　的

中井町の学校の「未来予想図Ⅱ」

なかい教育ビジョンの策定に向けて、「明日を担う子どもたちにふさわしい学校教育及び学校施設のあり方」をテーマに意見交換を行う

参加者：学校運営協議会委員、町教育委員、町社会教育委員、町民（参加希望者）、合計で30名が出席。（その他、町教育委員会関係者が参加）

未来のなかいっ子たちが生き生きとできる学校をみんなで語ろう！

全体の流れ

第1ラウンド
未来のなかいっ子たちが生き生きとできる学校について考える

→

第2ラウンド
席替えをした後、自分の班で出た意見を移動した班で紹介する

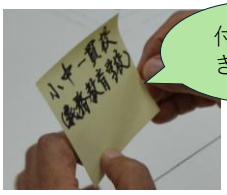
第3ラウンド
他の班の意見を報告して、自分たちの班の「未来予想図」で大切にしたいことを3つ決める

→

全体共有
第3ラウンドで決めたことと理由を発表

→

振り返りとまとめ



教育懇談会では、テーマに沿って活発な熱い話し合いが展開され、合計で154の意見が出されました。第3ラウンドでは各班でベスト3を決めました。次の表は、ベスト3をジャンル別に分けてまとめたものです。「学校の未来の姿」は、6班すべてで話題になり、全体の35.3%をしめました。（※班数の合計が17になっているのは、一つの班の提出数が2だったため）右に示したのは、具体的に議論された内容です。

班全体のベスト3

ジャンル別	班数	割合
学校の未来の姿	6	35.3%
学習	3	17.6%
地域とのつながり	3	17.6%
子どもたちのつながり	2	11.8%
教育相談	1	5.9%
人権	1	5.9%
その他	1	5.9%
計	17	100.0%

▼学校の未来の姿
小中一貫と通学、ワンスクール中井学園

▼学習…　ネイチャースクール中井、外につなげる学びの発展、世界に羽ばたく中井っ子

▼地域とのつながり…地域交流、先人からの継承

▼子どもたちのつながり…国際理解、なかいー！

▼教育相談…すべての子どもの意見を聞く、聞ける

▼人権…こども権利ファースト！

●10月定例教育委員会…10月23日(木)13:30～改善センター2F研修室　☎81-3906●